

令和元年度 入札監視委員会議事概要

海上自衛隊大湊地方総監部・八戸航空基地

開催日及び場所	令和元年9月27日（金）仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長：鈴木利夫（大学教授） 委員長代理：赤石雅英（公認会計士・税理士） 委員：伊東満彦（弁護士） 委員：石綿はる美（大学院准教授） 委員：棚橋則子（大学講師）

I 防衛省発注機関が締結する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
審議対象件数	45件（大湊35件、八戸10件）

1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）

抽出件数	総件数	1件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約		1件	
指名競争契約		0件	
随意契約		0件	
	意見・質問		回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 一般競争契約(政府調達協定対象外)</p> <p>○ 建物番号130外トイレ等改修工事（八戸） ・特殊な工事ではないと思われるが、再公告、1者応札、高落札率となった理由は何か。</p> <p>・再公告にあたり変更した内容はあるのか。</p> <p>・なぜ業者が忙しいと思われる時期に工事を発注したのか。</p> <p>・業者が閑な時期に発注すればもっと価格が下げられるのではと考えたが、補正予算であれば仕方がない。</p>		<p>・特殊な工事ではないが、八戸航空基地では過去5年間で同様な工事の実績がある企業は1者しかなく、見積り段階ではもう1者から見積りを受け取っていたが、他の工事が忙しいということで入札に参加しなかった。</p> <p>前回の入札では金額的に折り合わず、再公告の際に、見積りを再徴取し、内容を精査したうえで新たに予定価格を積算したため、結果として高落札率となったものとする。</p> <p>・仕様内容は変更せず、予定価格を見直した。</p> <p>・補正予算により事業化された工事であったため、この時期に発注することとなった。</p>

2 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) ・なし
工 事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		・なし	
○委員会による意 見の具申又は勧 告の内容		・なし	
3 再苦情処理（再説明請求回答）			
・該当案件事案なし			

令和元年度 入札監視委員会議事概要

海上自衛隊大湊地方総監部・八戸航空基地

開催日及び場所	令和元年9月27日(金) 仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長:鈴木利夫(大学教授) 委員長代理:赤石雅英(公認会計士・税理士) 委員:伊東満彦(弁護士) 委員:石綿はる美(大学院准教授) 委員:棚橋則子(大学講師)

Ⅱ 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
審議対象件数	3,196件(大湊2,274件、八戸922件)	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数 6件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	6件	
指名競争契約	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 一般競争契約(政府調達協定対象外)</p> <p>1 電気設備保守管理業務 ・大湊地方総監部(以下「大湊」という。)において1者応札で高落札率が継続している理由について、説明されたい。</p> <p>・八戸航空基地(以下「八戸」という。)において29年度は1者応札で再公告、高落札率であったものが、30年度は5者応札で低い落札率となっている理由について、説明されたい。</p>	<p>・大湊地区という土地柄、他の地域と隔絶された場所であるため都市部の企業が参加を敬遠する傾向にあり、特に本件は作業員の常駐が必要であるが、その人員の確保等が難しいということもあるため、入札参加を見送っているものとする。その結果、例年落札している業者のみが入札参加となっている。今後、八戸において新規参入した業者に大湊での入札参加を促す予定である。</p> <p>・過去5年間、複数者の応札があり、29年度についても1回目の入札で3者の応札があったが、2回目の入札で2者が辞退した結果、1者応札となった。30年度については新規の業者が入札に参加したため、従来から落札していた業者との競争の結果、低い落札率になったものとする。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>2 ボイラー設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大湊において30年度に落札率が低下した理由について、説明されたい。 ・八戸において高落札率が継続しているが、案件1において低落札率で落札したA社はこの案件の入札には参加していないのか。 <p>3 亜鉛くず等の売払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売払いの入札手続きの流れについて、説明されたい。 ・予定価格の算定方法について、説明されたい。また、その方法は、大湊と八戸で同じなのか。 <p>4 清缶剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大湊において1者応札で高落札率となっている理由について、説明されたい。 ・八戸において入札参加業者が増え、落札率が低下しているが、何か改善を実施したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低い落札率となったのは、従来から落札していた業者と新規参入業者との競争の結果によるものである。 ・A社は27年度と29年度の入札には参加しているが、30年度は参加していない。分析の結果、A社が参加しても落札率は下がっていないが、今回大湊での新規参入業者の情報を得たので、今後八戸での入札参加を促す予定である。 ・以下の流れである。 要求書提出→入札公告→入札申込（仕様書受領）→見積提出依頼→市場価格調査→予定価格作成→入札→落札決定→契約書作成→契約金額払込→物品引取 ・売却価格は見積単価と月刊建設物価及び日刊産業新聞等に掲載されているスクラップ相場を参考とし、引取り費用は見積価格と公共建築工事積算基準を準用し積算している。売却価格から引取り費用を差引いた価格と、最高見積価格を比較し高価となるものを採用している。大湊と八戸ともに同じ方法である。 ・仕様書の受領は複数者あるものの結果として1者応札となっている。当該業者に入札に参加しなかった理由について確認した結果、インターネットに公表されている過去の価格を見て勝てないと判断したようである。また、製品指定をしているが販売代理店等の制約を受けるものではない。 ・製品指定していないということが八戸において落札率が低下している理由である。

	<p>・大湊において製品指定している理由は何か。</p> <p>5 インクカートリッジ</p> <p>・大湊では1者応札で高落札率である一方、八戸では入札参加業者が多い。単なる物品購入であれば、競争性が確保できる八戸で大湊分も含めて入札をすればいいのではないか。</p> <p>・本件及び清缶剤等の物品購入の案件については部隊間で共同調達の手法を追及すべきと思われるが、できない理由はあるのか。</p> <p>・業務の改善ということで、各地方で調達するのではなく、中央でまとめて一括調達の方が合理的ではないのか。</p> <p>6 機動施設隊誘導路整備(八戸)</p> <p>・1者応札、高落札率となった理由は何か。</p> <p>(総括)</p> <p>・概ね適正に入札手続が行われていることは理解した。地域的な特殊性が出てくることから、今回は大湊と八戸で同じような内容の契約について比較する方法で実施した。これによって部隊間での情報共有を図ることができたものとする。また海自の業務改善の取組を垣間見ることができた。</p>	<p>・以前、製品指定したものの同等品を使用したところ、希釈の方法が違っており、そのことを理解せずに使用した結果、使用量が増え、追加調達をした経緯があったため、運用の効率化を重視し、従来から使用していたものを製品指定して購入している。しかし今回、製品指定の必要がないことを理解したため、次回からは製品指定を外す方向で検討する。</p> <p>・インクカートリッジは、メーカーごとに特定の代理店が落札する傾向が高く、今回についても同様の傾向であった。一方、大湊と八戸とで同じ製品を調達したものの単価を比較したところ、ほぼ同価格のものが多く、応札者が増えても、必ずしも価格が低減するとは限らないという分析結果を得た。</p> <p>・共同調達によって調達の柔軟性が失われるというデメリットがあることから、そこは慎重に検討したい。</p> <p>・海上自衛隊においても同じ認識を持っており、コピー機については補給本部において全国の分をまとめて調達している。コピー機がひと段落したばかりであるので、プリンター類は次の段階であると考えているが、問題意識については理解している。</p> <p>・機材の借り上げについては、過去5年間の実績で、28年度だけが1者応札、その他の年度は2者応札であり、1者だから高落札率であるというわけではない。アスファルトフィニッシャーについては、操縦者込みで借り上げるため、見積段階から対応可能業者が1者しかないというのが実態である。</p>
--	--	---

2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0 件	(審議概要) ・なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回 答
	・なし	・なし
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	・なし
3. 再苦情処理（再説明請求回答）		
・該当案件事案なし		

令和元年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和元年9月27日(金) 仙台第3合同庁舎8階第2会議室
委員	委員長:鈴木利夫(大学教授) 委員長代理:赤石雅英(公認会計士・税理士) 委員:伊東満彦(弁護士) 委員:石綿はる美(大学院准教授) 委員:棚橋則子(大学講師)

II 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
審議対象件数	38件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	4件	(審議概要) 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
一般競争	3件	
指名競争	1件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○一般競争契約(政府調達協定対象外)</p> <p>1 事業用自動車交換購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件は1者入札案件であるが、購入した車両は特別の仕様のものなのか。 ・特別な仕様ではないのに1者入札となったのは何故か。 ・資料を見ると1番燃費の良い車の業者が入札に参加しておらず、結果的に価格は多少安価ではあるが、燃費性能の劣る車を購入したことになる。下取りされる車と同様に15万キロ走行すると仮定するとトータルの経費は高くなるように思える。 ・燃費値だけの評価になっているようであるが、時代の流れとして安全性能の向上が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な仕様は、1,500cc以上、4WD、ハイブリッド、定員5人以上の乗用車であり、特別の仕様とはなっていない。 ・事前に3者から見積を徴したが、納期が間に合わない、納車場所に対応出来ない等の理由により結果的に1者となったものと理解している。 ・今回の購入については、価格と燃費値についての総合評価により落札者を決定することとしているもので、価格が多少高くても環境性能の優れた車種を導入できる仕組みとなっているが、結果的に1者となったものである。 ・現時点では、安全性能に係る評価基準が示されていないので、燃費値による評価のみとなっている。

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>・ 公用車による事故を減らしていくことが国の社会に対する責任のひとつとも考えられたため、衝突防止機能等の安全装備についての評価も加えることも必要と思える。</p> <p>2 平成30年度米軍三沢基地と周辺地域との交流事業委託業務</p> <p>・ 本件は1者入札案件であるが、交流事業のイベントの内容は、委託した業者が提案するのか、それとも局で企画したイベントを委託先に実施させているのか。</p> <p>・ 毎年同じ内容でイベントを実施しているのであれば、ノウハウを得た1業者しか入札に参加しなくなる。 毎年楽しみにしている子供がいるなら難しいと思うが、1者入札を回避するためにはイベントの内容を業者から提案させるような形態に変更する必要があるかもしれない。</p> <p>3 三沢飛行場における航空機騒音基礎データ等調査</p> <p>・ 本件は、2者応札で落札率が50%以下と低いが、予定価格の算定はどのようにしているのか。</p> <p>・ 業者見積りを局で査定して予定価格を算定しても半額になるのであるから、業者見積りの信憑性は低いものと思う。航空機の騒音調査は基地だけではなく空港でも実施されていると思うが、調査の積算基準のようなものはないのか。</p> <p>・ 過去の例をみると、1者入札の時に比べ複数者が参加するようになって落札率が下がり競争性があるとも言えるが、予定価格についてはもっと精査するべきと思う。</p> <p>○ 指名競争契約</p> <p>4 平成30年度駐留軍等労働者に対する給与金支払事務の銀行委託契約</p>	<p>・ 基本的に当方で企画した内容を委託している。</p> <p>・ 現在のイベントはこれまで7回実施しており、ある程度地元に着し、子供たちも楽しみにしていることもあり、急に内容を変更することは難しいと思われる。</p> <p>・ 事前に業者から見積りを徴し、それに対して人件費、交通費等を入換等して予定価格を作成している。</p> <p>・ 離発着の回数・時間が毎日ほぼ変わらない民間航空と日々の回数・時間が大きく変動する自衛隊・米軍施設では調査方法も異なるため、今回の調査のような積算基準は整備されていない。</p> <p>・ 予定価格の作成については実態を踏まえて対応していきたい。</p>

	意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	・東北防衛局では指名競争契約としているが他の防衛局でも同じか。 ・契約方法は局ごとに決めて良いことになっているのか。 ・説明を聞き指名競争契約にせざるを得ない理由は理解できるが、一方、他局はなぜ違う方式なのか。 (総括) 「事業用自動車交換購入」、 「米軍三沢基地と周辺地域との交流事業委託業務」及び「航空機騒音基礎データ等調査」の3件については、参加者が少なく入札行為が機能していると言いつい難しい状況であると思われる。 今後、改善の努力をしてもらいたい。 現状では業者となれ合いで契約を締結していると言われかねない。 また、事業用自動車交換購入については、定められた車両の評価ルールに更に安全サポート機能等の局独自の評価項目を加え、防衛局が事故の低減に努め社会の安全に貢献していくようなことを考えても良いと思う。	・他局では当局と同様に指名競争契約にしているところもあるが、一般競争契約または随意契約としているところもある。 ・そうである。 ・当該事務を実施している事務所等が置かれている地域の競争参加資格を有する金融機関の状況、契約方式の決定に至る過去の経緯等があると思われるが、明確には承知していない。

2. 談合情報案件の処理状況について

談合情報件数	0 件	(審議概要) ・なし
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問 ・なし	回答 ・なし
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	・なし

3. 再苦情処理（再説明請求回答）

・該当案件なし